

とうきょうすくわくプログラム活動報告書

| | |
|-------|-------------------------------|
| 園名 | サニーチャイルドとごし |
| 対象 | 品川区平塚 1-13-9 ヴェルステージ戸越 101 号室 |
| 実施期間 | 6 月～9 月 |
| 年間テーマ | 自然・光・影・音 |

1 活動テーマ

〈テーマ〉

- ・6 月→自然の光と影を見つける。
- ・7 月→日常の光と影探しをする。
- ・8 月→自然現象の光と音に触れ音探しをしていく。
- ・9 月→日常や自然現象の音に似た音探しを玩具楽器でする。

〈テーマの設定理由〉 ※子どもの姿

- ・6 月→夕方の散歩で光や影に気が付いた為。
- ・7 月→室内でも光や影を探す姿が見られた為。
- ・8 月→光や影を探す中で自然現象の音にも興味を示した為。
- ・9 月→音探しをする姿が増えてきた為。

2 活動スケジュール

- ・6 月→戸外や室内で、自然の光と影を見つける。
- ・7 月→日常の中の、光と影探しをする。
- ・8 月→自然現象の雷で、光と音に触れ音探しをしていく。
- ・9 月→雷などの自然現象に似た音探しを玩具楽器でする。

3 活動のために準備した素材や道具、環境設定

※活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具

- ・6 月→日中と夕方に戸外へ出かける機会を設ける。
- ・7 月→子どもに気がついてもらえるような場所へ影ができるような工夫をする。
- ・8 月→水遊びの中で光と音に気がつけるような声掛けを行う。
- ・9 月→音の鳴る玩具や楽器を準備する。花火や雷の音を一緒に調べて聴けるようにする。

4 探究活動の実践

〈活動の内容〉

- ・6 月→積極的に日中や夕方も戸外に出かける。子どもが気づき、興味を持てるような言葉かけをする。
- ・7 月→子どもが発見した光に手や玩具などで影の変化に気づくことができるようにする。
- ・8 月→水遊びの中で光の違いや変化に気がつけるようにする。その中で、音への興味関心があった為、一緒に深めていく。
- ・9 月→自然や日常での音探しをし、その音を再現する。

〈活動の中の子どもの姿・声・子ども同士や保育者との関わり〉

| 子どもの姿（声・子ども同士や保育者との関わり） | 写真 |
|--|--|
| <p>・夕方の散歩の際、壁に映る夕日の光や影の濃さに気が付いた。保育士が動きを見せて影の変化が出るようにしたことで、子ども自身で触って影の動きを楽しんでいた。</p> <p>・日中の散歩で外灯の点灯の有無に気がつき、仕草や言葉で保育者に知らせていた。</p> <p>・夕方に窓に映る洗濯物の影や床に映る日光に気がついた。興味を示し、手や玩具をかざしていた。保育士の提案の下、日光に近づいたり、遠ざかったりしながら影の大きさの変化を楽しんでいた。「(影が) おおきくなった。」「(影が) ながくなった。」「(玩具をかざしながら) ちょうちょいた。」と言っていた。</p> <p>・ベランダでの水遊び時にタープで日除けをしていた。そのタープの間から光が差していた為、保育士がタープを動かした。重なり具合や角度で光の濃さや強さが変わったことに気がついていた。</p> <p>・夕立が起きた際、「なんかおとがする」「なんのおと?」と言いながら窓から雨の様子を見ていた。雷の光と音を興味深そうに見つめていた。</p> <p>・週末に家庭で花火を見に行った子が花火に興味を示し、保育士と話をしていた。雷と花火を一緒に調べて光や音について興味を深めていった。</p> |  |

5 振り返り

〈振り返りによって得た先生の気づき〉

夕方散歩時に発見した光や影がきっかけとなり、戸外の他の場所や室内でも自ら探して気づき、保育士や友だちに知らせる姿が見られるようになった。発見を楽しみ、変化に気がついて、より興味を持てるよう一緒に近づいたり、遠ざかったりし大きさの変化や色の濃さに気がつけるようにした。そのため、光を見つけた際には、影を作って遊ぶ姿が日に日に増えていた。また、蛍光灯・外灯（人工的な光）には、気づきはあるが、ライトを使用している活動はできず、子どもの関心は自然現象に向いていた為、その後はそちらを主に活動していった。雷や花火の光や音にも興味を示していたため、テーマに音を追加した。戸外での音探しを通して季節の変化した音の違いに気がつけるようにしていきたい。

とうきょうすくわくプログラム活動報告書

| | |
|-------|-------------------------------|
| 園名 | サニーチャイルドとごし |
| 対象 | 品川区平塚 1-13-9 ヴェルステージ戸越 101 号室 |
| 実施期間 | 10 月～1 月 |
| 年間テーマ | 自然・光・影・音 |

1 活動テーマ

〈テーマ〉

- ・10 月→秋の音探しをする。
- ・11 月→身近な物を鳴らし、音を探してみる。
- ・12 月→本物の楽器に触れる。
- ・1 月→冬の音探し。

〈テーマの設定理由〉 ※子どもの姿

- ・10 月→夏の自然の音に興味を示していたため。
- ・11 月→秋の音探しで興味を深めていく中で、身近なものにも興味を示していたため。
- ・12 月→身近な物で音を鳴らして似ている楽器の音を発見したため。
- ・1 月→季節が変わり、音の変化に気が付いたため。

2 活動スケジュール

- ・10 月→秋の戸外にある音探しをする。
- ・11 月→戸外での音を身近な物を鳴らし、探してみる。
- ・12 月→本物の楽器に触れ、音を鳴らし音の違いに気づく。
- ・1 月→冬の戸外での音探し。

3 活動のために準備した素材や道具、環境設定

※活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具

- ・10 月→動植物のいる公園へ出かける。昆虫の載る図鑑を用意する。祭り・運動会など季節ならではの音を聞く機会を設ける。
- ・11 月→ミルク缶・ラップ芯・空箱・玩具・手作りマラカスを使って音を鳴らせるようにする。
- ・12 月→太鼓・タンバリン・鈴・風鈴を用意する。
- ・1 月→動植物のいる公園へ出かける。季節の虫について調べられるようにする。

4 探究活動の実践

〈活動の内容〉

- ・10 月→観察をしている際に声掛けをして気が付けるようにする。帰園してから図鑑を使って虫の名称や鳴き声を一緒に調べる。イベントについて話をし、曲を調べて聴けるようにする。
- ・11 月→廃材で楽器を作り鳴らして遊べるようにする。音の違いや似た音に気が付けるような言葉かけをする。
- ・12 月→子どもの気付きを元に本物の楽器を用意する。朝の会や遊びの中で季節の歌を歌いながら鳴らし遊ぶ。
- ・1 月→10 月に行っていた公園に出かけ、音の違いや変化に気付けるようにする。

〈活動の中の子どもの姿・声・子ども同士や保育者との関わり〉

| 子どもの姿 | 写真 |
|--|--|
| <p>・夏に季節ならではの音に興味を示していたため、虫などがいる公園に出かけた。保育士が「何の音？」と意識的に言葉をかけ、子どもに気がつけるようにした。虫の声に気がつき「なんのむし？」と興味を示していた。園に戻ってから図鑑で調べた。</p> <p>・戸外散歩中に他園の運動会練習で聞こえる音（BGM と笛）や休日に参加した祭りの音（BGM や太鼓）に興味を示していた。運動会や祭りの音を調べ、流して楽しんだ。</p> <p>・太鼓への興味が増したため、廃材で太鼓を作って鳴らせるようにした。ミルク缶や紙製の空き箱の音の違いに気がついた。「カンカン（ミルク缶）」「トントン（紙製の空き箱）」「ドーン（ミルク缶を力強く叩いた）」と音を言葉にしていた。「ドーンはかみなり？」「なんかいてる？」と言っていた。</p> <p>・廃材楽器で音を鳴らすことを楽しんでいたため、本物の楽器を用意し遊べるようにした。鳴らし方によって音の違いや似ている音に気が付いていた。朝の会や遊びの中で季節の歌を歌いながら鳴らして遊んだ。</p> <p>・音に親しんでいたため、以前よりも音が聞こえないことに気がついた。夏・秋に行っていた戸外に出かけ、音探しをした。以前調べた虫の生態について一緒に調べた。</p> <p>・戸外で音の違いによく気がつき、変化を楽しんだため、再び光や影に着目し、興味を示すようになった。「（歩きながら）かげ うごいた。」「（反射で色がついた地面の光を見て）どうしてピンクなの？」と音の違いから光や影の違いにも気が付いていた。</p> |    |

5 振り返り

〈振り返りによって得た先生の気づき〉

前期で音に興味を示していた為、積極的に自然のある公園へ出かけ、季節ならではの虫の声などに触れられるようにした。同時に季節のイベントの音にも興味を示して親しみ、雷や花火に似た音を廃材や本物の楽器で奏でて楽しめるようにしたことで、その後も戸外でよく耳を澄まし、音探しをする姿が見られるようになった。後期も子ども自らが自然現象や音に興味を示し、探究する姿が見られていた。最後は、音への探求から光と影に興味関心が戻り、見つける力・感じる力が養われた。